

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2024年10月16日
研究終了日	2025年12月26日 まで
研究の名称	大腸ステント留置後に切除された大腸癌の術前栄養状態と予後の検討
研究対象	大腸ステント留置後に切除された大腸癌の術前栄養状態と予後の検討
対象材料	診療記録
対象期間	2016年1月から2024年1月
研究の目的意義	閉塞性大腸癌は低栄養になることがあり、術前低栄養が大腸癌の予後と関連するのかが明らかにすることを目的とする。
方法	当院で2016年1月から2024年1月に当院でステント留置された後に原発巣を切除された方を対象に、栄養指標としてGeriatric Nutritional Risk Index, modified Glasgow Prognostic Scoreを用い、低栄養状態と術後合併症が関連するか、低栄養と全生存率、無病生存率が関連するかを検討する。
個人情報の取り扱い	個人情報は院内で取り扱い、匿名化等により院外には出しません。
問い合わせ先 (研究責任者)	市立豊中病院 消化器外科 萩原 清貴 TEL06-6843-0101